

受賞のことば

日本小児循環器学会では平成27年より公益財団法人宮田心臓病研究振興基金からの寄付を受け、「Miyata Foundation Award日本小児循環器学会研究奨励賞」を設立しました。4回目となる本年度は**岩下憲行先生**（慶應義塾大学医学部小児科）、**森浩輝先生**（東京女子医科大学循環器小児科）が受賞され、7月の学術集会時に表彰式が開催されました。

岩下 憲行 先生

慶應義塾大学医学部小児科

この度、第4回Miyata Foundation Award日本小児循環器学会研究奨励賞の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。宮田宏章理事長ならびに公益財団法人宮田心臓病研究振興基金の皆様へ感謝し、また私の研究をご評価下さいました坂本喜三郎理事長はじめ日本小児循環器学会の先生方に厚く御礼申し上げます。

心筋症は新生児期から成人まで、不整脈、心不全をきたし、心臓突然死の原因となります。これまでの研究で、拡張型心筋症、肥大型心筋症および左室心筋緻密化障害の遺伝的原因がオーバーラップすること、そして同一の遺伝子上の異なる変異により臨床表現型が変わることが明らかになってきましたが、その表現型を決定するメカニズムは明らかにされていません。私の研究では、健常人由来の正常コントロールiPS細胞に、ゲノム編集技術を用いて様々な心筋症に関連した疾患遺伝子変異を導入します。そして心筋分化誘導し、得られた心筋細胞の表現型、細胞内シグナル制御および遺伝子発現プロファイルを比較検討することにより、各心筋症の遺伝子型-表現型相関を制御する分子メカニズムを明らかにすることを目指します。小児循環器臨床医としても研究者としても、まだ駆け出しですが、今回の受賞を励みに本領域の発展に貢献できるよう研鑽を積んでまいります。

森 浩輝 先生

東京女子医科大学病院 循環器小児科

この度は、栄えある第4回Miyata Foundation Award日本小児循環器学会研究奨励賞に選出いただき、誠にありがとうございます。宮田宏彰理事長ならびに小児循環器学会の皆様へ心より御礼申し上げます。

今回の受賞テーマは深層学習を用いた人工知能による心電図判読に関する研究です。近年の演算処理能力向上など様々な背景技術の革新により、人工知能による特定の領域での作業精度は人間の判定を超えるものが出現してきています。この技術を導入応用することによりこれまでの循環器診療の中で蓄積された知見のコモディティ化、高精度化を目指しています。従来、研鑽を積んだ医師のみによってなされていた判断がより一般化され社会還元されることや、精度のばらつきが減ることが期待されます。本研究結果が実装されれば検診や日常診療での非専門医による心電図判読も高精度化され、我々小児循環器医は、診断名がついた上でいかに治療戦略を組み立てるか、どのようにして患者さんやその家族と関わるか、こういった医師として本来的に目標とすべき事象に注力することが可能になります。

小児循環器診療に関わる新たな方策として、From Japanで世界に通用するような研究に発展するよう邁進する所存です。



左から公益財団法人宮田心臓病研究振興基金 宮田宏章理事長、岩下憲行先生、森浩輝先生、坂本喜三郎理事長



授賞式では宮田宏章理事長から賞状を授与していただきました。